

令和3年度 決算報告

問 財政課
☎ 内線 216

その他 3億5,947万円

議会費	1億3,832万円
労働費	1,101万円
農林水産業費	9,416万円
商工費	9,909万円
その他（災害復旧費など）	1,689万円

消防費 5億307万円

【主な事業】

消防専用無線維持管理事業	1,716万円
高規格救急車購入事業	3,385万円

公債費 7億3,292万円

借りたお金の返済	7億3,292万円
----------	-----------

教育費 9億2,643万円

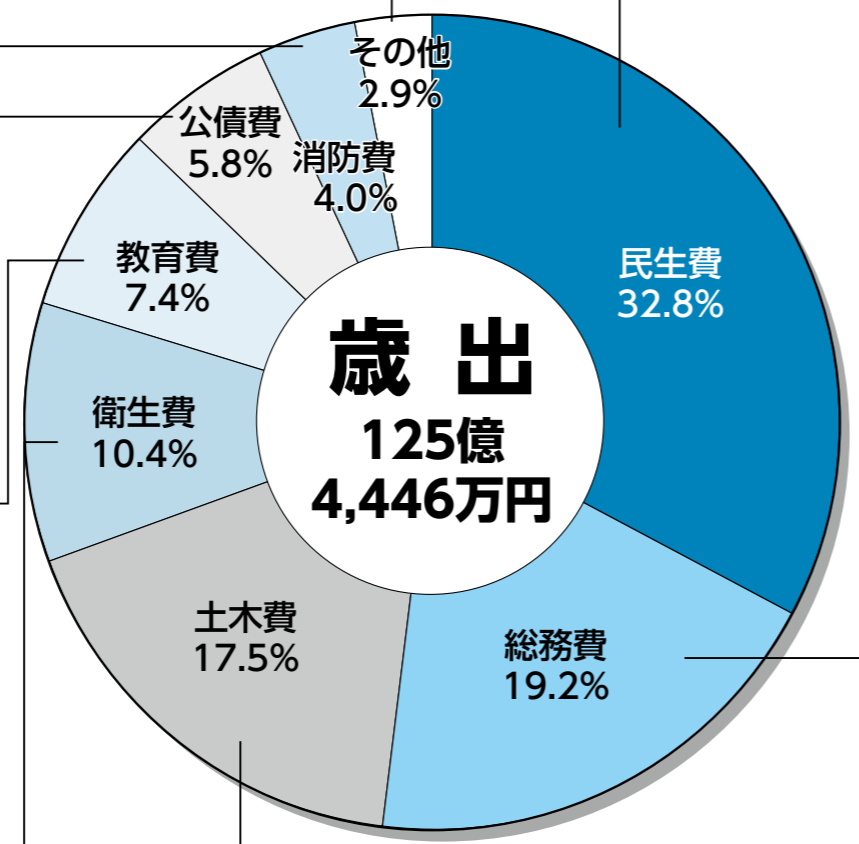
【主な事業】

大磯町立小中学校空調設備借上事業	4,085万円
要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	1,281万円
特別支援教育就学奨励事業	181万円
コンピュータ教育推進事業	3,277万円
小中学校施設整備事業	1,516万円
文化財保護事業	345万円
図書館資料整備事業	1,478万円
旧吉田茂邸運営事務事業	1,005万円
郷土資料館施設整備事業	4,607万円

衛生費 13億162万円

【主な事業】

母子保健事業	659万円
救急医療事業	1,598万円
妊娠出産前支援事業	1,672万円
予防接種事業	7,494万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	3億3,676万円
美化推進事業	459万円
ごみ処理広域化運営事業	8,223万円
リサイクルセンター運営事務事業	1億5,055万円
し尿処理施設維持整備事業	3,740万円



土木費 21億9,233万円

【主な事業】

橋りょう長寿命化修繕事業	7,957万円
道路ストック定期点検事業	3,895万円
狭あい道路整備事業	4,040万円
国府本郷西小磯1号線整備事業	5,247万円
生沢月京1号線整備事業	1,731万円
都市交通推進事業	2,450万円
公園トイレ改修事業	2,071万円
明治記念大磯邸園整備事業	9億1,536万円
ポートハウスてるがさき管理運営事業	1,520万円

民生費 41億1,613万円

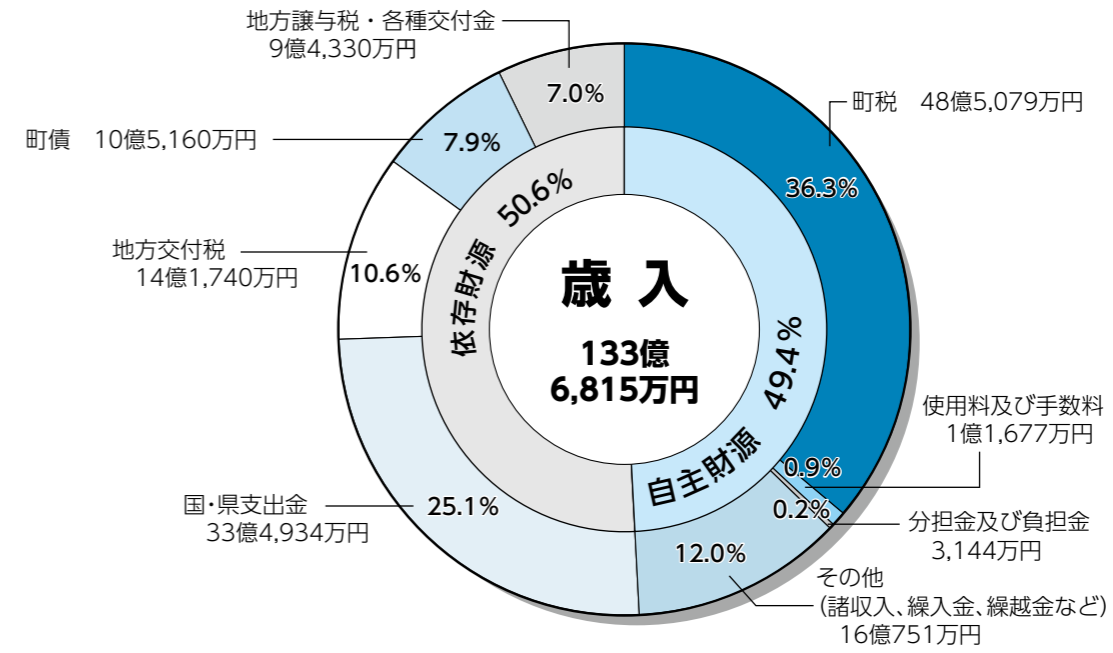
【主な事業】

障害者医療費助成事業	1億3,959万円
自立支援給付事業	5億7,556万円
地域生活支援等事業	3,916万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	2億4,451万円
小児医療費助成事業	8,449万円
子ども・子育て支援新制度運営事業	5億7,930万円
子育て世帯臨時特別給付金給付事業	3億9,977万円
児童手当等支給事業	4億836万円

総務費 24億1,249万円

【主な事業】

広報運営事務事業	1,740万円
町村情報システム共同運営事業	7,696万円
新庁舎整備事業	2,129万円
キャッシュレス収納導入事業	115万円
戸籍住民基本台帳運営事務事業	3,104万円
地域会館等維持管理事業	1,235万円
防災設備維持管理事業	1,130万円
避難所トイレ整備事業	1,152万円



●歳出
令和3年度の歳出決算額は、125億4,446万円で、前年度と比べ16億7,988万円の減少となりました。主な要因としては、普通建設事業費が明治記念大磯邸園整備に係る事業費などの増加により増、物件費は、GIGAスクール構想に係るコンピュータなどの備品購入費の減少はあるものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業に伴う委託料などにより増、維持補修費は、大雨等の影響による復旧対応のため増、扶助費は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業及び子育て世帯臨時特別給付金給付事業に伴う給付金の支給により増となっています。一方で、補助費等は特別定額給付金給付事業の終了などに伴い大幅な減となっています。町では、新型コロナウイルス感染症などの影響が長期化する中、様々な課題に対応しながら、第五次総合計画基本計画の着実な推進に向けて事業を実施しました。

今後、身の丈に合った行政サービスを維持し、安定した財政運営を行ってまいります。

●歳入
令和3年度の歳入決算額は、133億6,815万円で、前年度と比べ14億1,519万円の減少となりました。町の収入の根幹となる町税については、前年度より1億2,499万円の減少となりました。主な要因としては、新型コロナウイルスの減や、評価替えによる固定資産税の減などによるものですが、課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業及び子育て世帯臨時特別給付金給付事業に伴う増加は、臨時特別給付金の支給などによる増加は、事業の終了により減少しています。一方、地方交付税は、収入の増に補正等により普通交付税が増額されたことにより増、町債の増加により増となりました。町の増加は、臨時財政対策債の増、人口減少や少子高齢化などの影響を受け、町税の減少が予想されるため、自主財源の確保を図るため、活用などでの確保を図るため、最大限に確保してまいります。

